

easyprn.dll コマンド一覧

Int	プリンタの初期化を行います			
LF	改行を行います			
DBLON	文字の大きさを倍角にします			
DBLOFF	文字の大きさを標準にします			
BOLDON	文字を強調させます			
BOLDOFF	文字の強調を解除します			
ULON	アンダーラインを引きます			
ULOFF	アンダーラインを解除します			
KULON	ひらがな・カタカナ・漢字にアンダーラインを引きます			
KULOFF	ひらがな・カタカナ・漢字のアンダーラインを解除します			
LFT	文字列を左揃えにします			
CTR	文字列を中央揃えにします			
RGT	文字列を右揃えにします			
CUT	用紙をカットします			
DOPEN	ドロワのオープンコマンドを送ります			
JIS	国際文字を日本語に設定します			
CODEHIGHT	バーコードの高さを設定します 指定された値のドット数で高さを設定します 定義域は 1～255 です			
CODEWIDE	バーコードの横の長さを設定します 以下に EPSON、日本プリメックス、CITIZEN プリンタの場合に設定できる横 幅の仕様を記載します スター精密プリンタにつきましては 2.2バーコード印字方法(Pエラー! ブック マークが定義されていません。)を参照してください			
	定義域	マルチレベルバーコード	2 値レベルバーコード	
		モジュール幅	細エレメント	太エレメント
	2	0.282mm	0.282mm	0.706mm
	3	0.423mm	0.423mm	1.129mm
	4	0.564mm	0.564mm	1.411mm
	5	0.706mm	0.706mm	1.834mm
	6	0.847mm	0.847mm	2.258mm
マルチレベルバーコード: JAN8、JAN13、CODE128 2 値レベルバーコード: CODE39、ITF、CODABAR				

JAN8	JAN8のバーコードを印字します チェックデジットと合わせてバーコードのデータ数は 8 ケタにしてください バーコードの定義域はアスキーコードの 10 進数で 48～57 16 進数の場合は 30～39
JAN13	JAN13 のバーコードを印字します チェックデジットと合わせてバーコードのデータ数は 13 ケタにしてください バーコードの定義域はアスキーコードの 10 進数で 48～57 16 進数の場合は 30～39
CODE39	CODE39 のバーコードを印字します バーコードの定義域はアスキーコードの 10 進数で 48～57、65～90、32、 36、37、42～47 16 進数の場合は 30～39、41～5A、20、24、25、2A～2F
ITF	ITF のバーコードを印字します バーコードの桁数は 2 ケタ以上の偶数にしてください バーコードの定義域はアスキーコードの 10 進数で 48～57 16 進数の場合は 30～39
CODABAR	CODABAR のバーコードを印字します バーコードの桁数は 2 ケタ以上にしてください スタート・ストップコードも指定してください バーコードの定義域はアスキーコードの 10 進数で 48～57、65～68、97～ 100、36、43～47、58 16 進数の場合は 30～39、41～5A、24、2B～2F、3A
CODE128	CODE128 のバーコードを印字します。
CODEOFF	バーコードの印字終了コードです。
LOGO	NV ビットイメージを印字します。